

9条の碑

狩場台 k

5月16日の20周年記念の集いで、伊藤千尋さんが紹介してくれた「9条の碑」。今、全国に広がり、準備中の地域も増えているようです。伊藤千尋さんのfacebookから紹介します。

小野市では、田んぼの中に9条の碑。農業を営む84歳の鈴垣元さんと妻の芳子さんが建てました。父は、輸送船で戦死。鈴垣さんは、福崎町にできた9条の碑を見に行き、小野市にも建てたいと思った。あれだけの犠牲を出した戦争の結果として生まれた平和憲法が変えられようとしている。そんな時に「黙っていいのか」と決意されたようです。黒い御影石に白い文字で9条が彫られ、裏面には鈴垣さんの思い「敗戦により満州から引き揚げ開拓された草加野の地に、恒久平和を願い建立する」などと書いてあります。



京都宇治市では、あさくら診療所に9条の碑。建てたのは、やましろ健康医療生協です。618人の個人・団体から200万を越す賛同募金が集まった。碑には、日本国憲法9条の文字の下に条文が書かれ、裏面に「すべての人が等しく尊重される社会を目指します…地域に平和の意思を発信します」と書かれてあります。

そして、スペインのメノルカ島の9条の碑です。海外では、4つ目です。製作したのは、神戸市の長島稔さんと知子さん夫妻。建築家でインテリア・デザイナーの長島さんは、最近、須磨の9条の会に入会、海外にも9条の碑が建てられていることを知った矢先、スペインのメノルカ島にいる友人から「島に来ないか」と誘いを受けました。82歳の長島さんがメノルカ島に9条の碑を建てたいと友人に話し、友人が地元の学校と交渉。校長・職員の了解を得て、学校の入り口正面、6メートル四方の外壁を提供してくれました。壁いっぱい描いたのは大きな木です。根元の部分に5メートルの板を取り付け、地元のカタルーニャ語で「平和の木」を彫りました。その板に日本語、カタルーニャ語、スペイン語で憲法9条を書いた3枚のアルミ板を取り付けたのです。9条の説明板も取り付けました。この外壁全てが9条の碑です。



以上、3つの9条の碑を紹介させていただきました。

3つの9条の碑、それぞれの良さがあると思いました。特に、メノルカ島の9条の

碑には、びっくりでした。偶然ですが、須磨の9条の会の人から、メノルカ島の9条の碑のチラシをいただきました。そのチラシの9条の説明板には、[世界中から戦争をなくし、平和な世界になるように「絶対に戦争をしない」と誓った日本の憲法を紹介します。]と、書かれてありました。